

神奈川県放射線友の会（略称 神奈川放友会）は創立 10 周年記念事業として「食と放射線」-放射性物質の汚染実態と風評被害- 副読本を出版することになりました。

この夏は、「食と放射線」副読本と創立 10 周年事業の準備で理事会が久しぶりに老人パワーで盛り上がりました。

この副読本は

福島原発事故から 6 年半が経過した現在、福島産の農水産物などの放射能測定体制は整い、その食品からは放射性物質汚染は皆無となっています。

しかし、国民の一部には、まだ「福島産の農水産物は怖い」という誤解が解けず、価格が下等評価されたり、販売制限がされたりしています。これは放射能・放射線・放射性物質を正しく理解しない風評被害が大きな課題としてあります。

さらに、食品だけの問題ではなく、原発事故による放射能汚染の無知や誤解から、福島から避難している市民に対する非常識な発言や生徒に対する学校でのいじめ問題が多発している現状があります。

これらの非科学的な放射能・放射線・放射性物質の誤解や福島産農水産物の風評被害、いじめ問題等を払拭するため、神奈川放友会はこの副読本を発行し、再度、放射線への正しい理解を求めて、「食品への放射性物質汚染の実態」、「風評被害や関連するいじめ問題防止」に資するものです。



2017 年（平成 29 年）9 月 15 日発行いたしました。1 冊 1,000 円（送料別料金）で販売しています。

放友会役員又は、神奈川放友会事務所にご連絡頂ければ対応いたします。

TEL 0467-681-7573(技師会事務所)

食と放射線	
-放射性物質の汚染実態と風評被害- 副読本	
推薦の言葉	公益社団法人 全国自治体病院協議会 常務理事 茅ヶ崎市立病院 院長 仙賀 裕 1
はじめに 2
序章 東日本大震災に伴う福島第一原発事故5
Part I 福島の風評被害を考えてみよう	
第 1 章 放射線被ばくに関して誤解はないか6
第 2 章 福島 新たな風評被害 17
第 3 章 「安全・安心への取り組み」と風評被害21
第 4 章 放射線影響に関する「感想と意識調査」27
Part II 「放射能」と正しく向き合うために	
第 5 章 太古の昔から自然界に存在する放射線 37
第 6 章 放射線の人体への影響 43
第 7 章 福島第一原発事故の放射性物質による環境汚染 53
第 8 章 食品の放射性物質汚染 63
第 9 章 放射線の管理・防護に関する規制と対応 73
第 10 章 いろいろな放射線を測る 83
第 11 章 暮らしや産業での放射線利用 93
第 12 章 放射線に関連する国際機関99